

# 市民力かわら版

第44号  
平成26年12月1日  
編集/市民力かわら版編集委員会  
発行/矢板市総合政策課  
電話：0287-43-1112  
ファクス：0287-43-2292  
Eメール：  
yaita@city.yaita.tochigi.jp



## スポーツの秋に全国から矢板に集まった 矢板たかはらマラソン

十一月九日矢板市運動公園をスタート・ゴールにした「第25回矢板たかはらマラソン」が開催されました。日頃の練習の成果を試そうと、北は岩手県、南は福岡県からの遠来の人を含め、合計千八百五十人が参加しました。この大会の運営を長年担当している運営役員の小野勝敏さん(69歳)と山口一夫さん(62歳)にお話を伺いました。

■走ってくれる人が多いから続けています

この大会のコース自体は特に他のコースと大差は無いようですが、参加者からは、「スタッフが親切に接してくれるし、ゴール後のリンゴがおいしい」と好評で、大会参加賞のロゴ入りタ



勢いよくランナーがスタート!!

離走大会」を始めた。これは矢板高校に在職し、陸上競技の多くの選手を育成していき十五年の栃木県陸上競技部長として活躍中に倒れた高

オルと長袖シャツも評判を得ています。運営側としても苦労がありますが、たかはらマラソンを毎年楽しみにしてくれる人が多いので、やりがいがあります。■たかはらマラソンの前にも別名で開催してました



おいしいと好評だったリンゴ

久功氏の功績をたたえ、矢板高校OBが中心になって、開催しました。そして十回を期に中止し、翌年から「たかはらマラソン」と名称を変更し、現在の大会に引き継いでいます。それが矢板たかはらマラソン大会の基礎になっています。■運営役員の確保が難しくなっています

この大会の運営役員は矢板市体育協会加盟の各協会にお願いしています。しかし、各団体とも、若い人が少なくなっているのが役員になる方が限定されるようになりました。どの団体でも、若い人が入会することを期待しています。

(T・M)

四十代ハーフで一位になった小山強志さんに突撃インタビュー!!

小山さんは矢板市在住の43歳。現在矢板ランニングクラブ(会員30名)に所属しています。



ゴール前の心臓破りの坂

■今までたかはらマラソンで何回一位になりましたか? 正確に数えていないらしく、「十回くらいかな」との回答。すごい!

■それじゃ箱根駅伝に出場したことはあるのですか? 「ありません」

■どの大学ですか? 「東洋大学です」

「へえビックリ!!」

そこで最近の小山さんのたかはらマラソン大会成績を調べてみました。直近の七年間で六回一位になっていました。来年も良い記録で完走できるように応援したくなりました。

(K・H)